

平成 28 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 幹事会要旨

日 時 : 平成 29 年 3 月 28 日 (火) 10:00 ~ 12:00

場 所 : 高知会館 3 階会議室「弥生」

出席者 : 別紙名簿のとおり (3 名欠席)

1 開会

当日の出席幹事は10名中7名であり、本日の幹事会が成立していることを報告した。

2 幹事長・副幹事長の選任

幹 事 長 田所幹事 (高知県林業振興・環境部長)

副幹事長 内田幹事 (県民部会部会長)

〃 黒田幹事 (高知市環境部長)

3 報告事項

(1) 県民会議の会員数について

県民会議の会員数について報告

(H29. 3. 28 現在、259 団体、昨年 5 月の総会以降 2 団体増)

(2) 各部会からの報告

ア 県民部会について

(ア) 部会・ワーキング・委員会の開催状況

部会 3 回開催

レジ袋削減ワーキング 2 回開催

交通エコポイント活用社会還元事業監理委員会 2 回開催

地球温暖化防止セミナー実行委員会、ミーティング 6 回開催

(イ) 事業の実施状況

a 地球温暖化防止セミナー

11 月 12 日高知大学朝倉キャンパスで開催 来場者 48 名

第 1 部 放送大学教授の講演

第 2 部 参加者ワークショップによる学びの定着と行動への結びつけ

b メールメンバーへの情報発信

3 回 (10 月、12 月、2 月) 実施

地球温暖化防止に係る様々な取組や県民が日常生活の中で実践するヒントになる情報の提供

c 環境家計簿の利用促進

環境家計簿様式の県民部会ホームページへの掲載

地球温暖化防止の取組をより実践的に生活の中へ取り入れていただくきっかけの提供

d レジ袋削減取組推進

男も (女も) 持つぞ! マイバッグキャンペーン 2016 参加 27 団体 1,552 名

スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテスト 2016 参加社数 8 社 60 店舗

e 約束草案の目標達成に向けた新たな取組の検討・実施

イベント出展可能性調査 対象: 県内 64 イベント 出展可能性リストの作成

ZEH化推進課題抽出 対象：9団体 住宅関係事業者にはアリング等を実施

f 交通エコポイント活用社会貢献事業

当該事業への寄附について、企業のCSR活動やエコアクション21の活動レポート等に実績として掲載できることを積極的にPR。過去最高の寄附金額が得られた。

事業内容と寄附企業の貢献について広く周知するため、とさでん交通との共同企画により路面電車全車両（50車両）に車内ポスターの掲示を行った。

環境・温暖化防止活動と公共利用促進の両面からの環境教育支援であること等が認められ、地球温暖化防止活動環境大臣表彰に「株式会社ですか」の取組が推薦され、表彰された。

イ 事業者部会について

(ア) 部会・ワーキングの開催状況

a 部会は1回開催

平成28年度の事業報告、平成29年度の事業計画の説明

高知県新エネルギー推進課による高知県新エネルギービジョンについて講演

b ワーキングは1回開催

第3期高知商工会議所環境行動計画の総括及び第4期高知商工会議所環境行動計画（案）の報告

(イ) 事業の実施状況

a ストップ温暖化宣言事業者推進事業

環境経営に取り組む事業者を宣言事業者として広く募集し、新たに12社が宣言、通算109社が宣言済み

b 環境フォーラム

2月27日に開催 参加者48名

合弁会社地球村研究室・東北大学名誉教授の石田秀輝氏による基調講演

エコアクション21中央事務局による表彰

エコアクション21事例発表会

c エコアクション21推進事業

エコアクション21セミナーの開催

高知市 参加者55名 62社

四万十市 参加者24名 27社

認証登録事業者は3月8日現在 225社

d 省エネアドバイザー派遣事業

高知商工会議所の会報及び県下の各商工会議所の会報で利用を呼びかけた結果、9社に計17回派遣を行った。

e 省エネ機器導入促進事業

ホームページで、事業者の省エネ機器導入に関する補助金制度等の情報提供を行った。

○幹事からの意見等

幹事 エコアクション21の取得企業に建設業以外の業種が少ない。県で施策を考えてほしいと昨年もお願いしたが、出されていない。施策を考えるのは予算が不要。県の企業の意識を高めていただきたい。温暖化対策は一部の取組では意味がない。取り組んでいる企業を優遇するような施策がない限り、誰もやらない。

- 事務局 建設業が伸びている背景には、公共工事における入札加点制度があるため。正に知恵と工夫によるところであると思うが、他業種でどのような方法が有効なのか、当方で考えているものの、いいアイデアがない。幹事の方々にお願いしたいのは、皆さんのお知恵・アイデアをいただいて、それを基に当方でも検討していきたい。もちろん当方でもアイデアを出す。施策の検討もさせていただく。事業者部会からもアイデアをいただきたいと思った次第である。
- 幹事 カッター作業で産廃事業者を優遇する等。昨年も言ったが、産廃処理費用の最低価格制度を作り、適正な価格で処理できるようにしていただきたいと思う。適正な価格かつエコアクション取得により信頼のおける企業を優先して選ぶよう指導する等。
- 幹事 ホテル業の食品残さ。その処理を民間事業者に委託してたい肥にしている。一方で、たい肥にする施設では、ホテルのお客様が客室に持ち込んだ不燃物との分別に膨大な作業が発生している。ホテルで分別を徹底すればいいのだが、食品残さが膨大な量なので、非常に難しい。ホテル業や飲食業でも分別が徹底できると、真の意味で環境に寄与していると思うが、現実には難しい。そこに助成や加点等があれば、建設業以外にも波及するのではないかと思う。
- 幹事 レストランで食べ残しがない、あるいはコンビニで買った飲食物を部屋に持ち込まなければ料金を割り引く等をすれば、持ち込まない。チェックインのときに書かせればいい。レジ袋と同じ。

## ウ 行政部会

### (ア) 部会・ワーキングの開催状況

#### a 部会は2回開催

第1回は、平成28年度事業計画の確認と各事業への協力の要請を行った。

第2回は、平成28年度活動報告、平成29年度事業計画及びワーキングの取組内容の審議、行政部会からの県民会議会長表彰の推薦について協議のうえ承認を得た。

#### b ワーキングは5回開催

環境マネジメントシステムワーキングを1回

地方公共団体地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定ワーキングを1回

グリーン購入基本方針策定支援ワーキングを3回

### (イ) 事業の実施状況

#### a 地方公共団体実行計画の策定の推進

事務事業編については、田野町・佐川町以外の市町村は策定済み。両町とも28年度・29年度に策定予定。

#### b エコオフィス活動の推進

##### ① 環境マネジメントシステム導入

9市町村が導入済み、3市町が導入予定・検討中

##### ② エコドライブ

安芸市において職員を対象とした啓発等を実施

##### ③ エコ通勤

実施期間10月26日～11月1日

いの町、越知町、四万十町、県庁（16所属）で計63名が参加し、0.461t

のCO2を削減

四万十市では年間を通じてエコ通勤の取組を実施

c グリーン購入の推進

これまで8市町村において基本方針を策定済。13市町村で策定予定・検討中

d 地球温暖化防止推進員の活用と連携

高知市、香南市、県の主催するイベント等で、推進員を活用した普及啓発を行っており、62名の推進員を派遣

e 県民への地球温暖化防止の啓発

① 節電・省エネの対策

第1回の行政部会において、広報誌を通じた家庭や事業所への節電の呼びかけ、庁舎・公有施設での節電取組強化の確認を行った結果、県内20市町村で広報等を実施しており、庁舎・公有施設において34市町村が節電の取組を強化した。

② レジ袋削減キャンペーンの広報および参加

地域住民等へ県民部会開催のレジ袋削減キャンペーンの周知を市町村に促すとともに、職員への参加を呼び掛け、8市町と県庁で768名が参加。

③ 電気自動車の普及

市町村が設置した充電器（公用車専用は除く）は急速充電器11基、普通充電器2基、計13基となっている。

○幹事からの意見等 なし

## 2 協議事項

(1) 総会第1部について以下の説明を行った。

ア 平成29年度高知県地球温暖化防止県民会議総会（次第案）

イ 第1号議案 平成28年度事業報告（案）

ウ 第2号議案 平成29年度事業計画（案）

○ウ 第2号議案 平成29年度事業計画（案）の説明内容

(ア) 県民部会

「家庭での二酸化炭素削減等の取組を、成果を見える化しながら進めていき、温暖化防止活動を行う県民をあらゆる機会を捉えて増やしていく」ことを事業目標とする。

28年度からの変更点は、「④地球温暖化防止問題の周知・啓発の強化」の一環として、県内で開催されるイベント等に出展し、直接県民に向けて地球温暖化防止に向けた行動についての呼びかけを予定。また、ZEH基準を満たす住宅や次世代自動車についてイベント等を活用して広く普及啓発を図る。

(イ) 事業者部会

「事業者の業務に関わる二酸化炭素排出削減等の取組を、その成果を見える化しながら進めていき、温暖化防止活動を行う事業者やその従業員を持続的に増やす仕組み作りをする」ことを事業目標とする。

28年度からの変更点は、省エネアドバイザーによる省エネ事例の紹介やエコアクション21取得企業の事例紹介、補助金情報等を盛り込んだパンフレットの作成及び配布により、普及啓発の実施すること。

(ウ) 行政部会

「行政自らの温暖化対策を推進するとともに、県民、事業者と一体となった取組を推進する」ことを事業目標とする。

28年度は、7つの事業に取り組む。前年度からの変更点としては、「②エコオフィス活動の推進」に、庁舎等の省エネ対策として、ハードの取り組みについて追加した。次に「⑤の県民への地球温暖化防止の啓発」に環境省が推進している「COOL CHOICE（賢い選択）」の賛同等の登録人数を増やす等を新たに行う。

○幹事からの意見等

幹事 事業者部会「⑦パンフレットの配布による環境経営の啓発」は具体的にどんなことを考えているか。

事務局 事業者部会が建設業に偏っていることを勘案し、製造業を含めた比較的成果が出やすいと思われる業種の方を中心に、取組を進めることによる企業側のメリットを中心とした内容の冊子を作る。その配布により、エコアクション21の取得等に繋げていくひとつのきっかけにしたい。

幹事 電気代を削減するため残業禁止にしたところ、コスト削減になったという話を聞いた。そういう事例も盛り込めばいいのではないか。

事務局 県でも、電気を消すことによって、残業代としての人件費の抑制、それがひいては働き方改革にも繋がり、取組んでよかったという声も寄せられている。そういった事例は積極的に記載したい。

幹事 高知市はエコ宣言をしたため、環境省の10分の10の交付金が交付された。しかし国の採択によって左右されるので、恒常的ではない。COOL CHOICEについて、県を挙げて取組むのであれば、財源を県がバックアップする等があれば、持続性が担保されると思う。検討をお願いしたい。

事務局 COOL CHOICE関係のポスターを焼き増しているところで、今年度中に各市町村にお届けする。住民の方が多く訪れる場所への設置をお願いしたい。また、既存のイベントへの温暖化ブースの出展も予定している。そういった予算は県で用意しているので、温暖化センター、市町村と一緒に啓発できればと考えている。

1号議案から2号議案については、承認された

(2) 総会第2部について

総会第2部の講演内容について事務局案を提示し、意見を求めた。

パリ協定も踏まえて国内外では様々な対策が進んでおり、国も地球温暖化対策を新たに策定している。温室効果ガスの更なる削減に取り組まなければならないので、国内外の地球温暖化問題の現状と対策について、国立環境研究所の地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長をお招きし講演していただきたい。

○幹事からの意見等 なし

講演内容については、事務局案のとおり承認された。

(3) 県民会議の表彰について

- ア 会長表彰  
県民部会から2団体、行政部会から1団体の推薦
- イ 部会長表彰  
県民部会から10団体、事業者部会から2団体の報告
- ウ 交通エコポイント寄付・感謝状贈呈  
交通エコポイント活用社会還元事業の管理主体から、同事業に対する寄附を行った85団体を報告
- 幹事からの意見等 なし

総会提出資料については、推薦どおり表彰することで承認された。

- (4) 交通エコポイント活用社会還元事業について  
交通エコポイント活用社会還元事業の管理主体の指名、「ですかでゴー」事業の実施要領の一部改正について事務局から提案し、提案どおり承認された。

- 幹事からの意見等  
幹 事 事業期間は、毎年一年更新か  
事務局 毎年、幹事会に諮って更新している

- (5) 高知県地球温暖化対策実行計画の取組について  
高知県の温室効果ガス排出量、吸収量の算定結果（速報値）、高知県地球温暖化対策実行計画の改定等について説明した。

- 幹事からの意見  
幹 事 排出係数を固定するのはいいと思う。電気事業者に振り回されてはたまらない。なお、高知県として燃料使用量と廃棄物の削減に取り組んでほしい。マイカー通勤をやめてバス通勤にすれば補助金を出す、ホテルで食べ残しをなくすと補助金を出す等。それから、植林は国内よりも赤道直下で実施するほうが効果大きい。そちらにお金を出す方が意味があると思う。

- (6) その他  
次回幹事会の開催時期について  
平成29年度の幹事会について、部会からの提案事業を推進するにあたり環境共生課が所管している高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用する際は申請前に幹事会に諮る必要があるため、補助金の募集締め切りに合わせて7月、9月、11月に幹事会の開催を予定し、補助金申請等の必要に応じて開催すること、また、3月はその年度の事業報告と総会に付議する議案について審議するため、必ず開催することを報告し閉会した。

以上